

## 事業プロセスの内部監査チェックリスト

### 該当する事業プロセス

- 全 : 下記の全てのプロセス共通の質問
- 営業 : 営業プロセスでの質問
- 設計 : 設計プロセスでの質問
- 購買 : 購買プロセスでの質問
- 製造 : 製造プロセスでの質問
- 設備 : 設備管理プロセスでの質問

2017.3.25 作成版

監査 No	<b>内部監査チェックリスト</b>	承認	作成
チェックリスト No			
発行:       年   月   日	被監査プロセス: 事業プロセス		
監査員:	被監査者: 事業プロセスの責任者		

ISO14001:2015 規格 要求事項 <span style="background-color: yellow;">      </span> 確認のポイント <span style="color: blue;">青字</span> : 付属書 SL による追加要求事項 <span style="color: blue; text-decoration: underline;">下線</span> : 旧規格及びSL に対する技術的な追加変更箇所	該当 プロ セス	No	質問事項	評価	備考

監査 No	<b>内部監査チェックリスト</b>	承認	作成
チェックリスト No			
発行: 年 月 日	被監査プロセス: 事業プロセス		
監査員:	被監査者: 事業プロセスの責任者		

ISO14001:2015 規格 要求事項 確認のポイント 青字 : 付属書 SL による追加要求事項 下線 : 旧規格及び SL に対する技術的な追加変更箇所	該当 プロ セス	No	質問事項	評価	備考
			前回の指摘事項は何ですか		
<b>目標の設定と計画</b>					
<b>5.2 環境方針</b> トップマネジメントは、組織の環境マネジメントシステムの定められた適用範囲の中で、次の事項を満たす環境方針を確立し、実施し、維持しなければならない。 a) 組織の目的、並びに組織の活動、製品及びサービスの性質、規模及び環境影響を含む組織の状況に対して適切である。 b) 環境目標の設定のための枠組みを示す。 c) 汚染の予防、及び組織の状況に関連するその他の固有なコミットメントを含む、環境保護に対するコミットメントを含む。 <u>注記</u> 環境保護に対するその他の固有なコミットメントには、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護を含み得る。 d) 組織の順守義務を満たすことへのコミットメントを含む。 e) 環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善へのコミットメントを含む。 環境方針は、次に示す事項を満たさなければならない。 ー 文書化した情報として維持する。 ー 組織内に伝達する。 ー 利害関係者が入手可能である。	全	1	環境方針をご存知ですね。あなたの部門にどの部分が関係しますか。		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p><b>6 計画</b></p> <p><b>6.1 リスク及び機会への取組み</b></p> <p><b>6.1.1 一般</b></p> <p>組織は、<u>6.1.1～6.1.4に規定する要求事項を満たすために必要なプロセスを確立し、実施し、維持しなければならない。</u></p> <p>環境マネジメントシステムの計画を策定するとき、組織は、次の a)～c) を考慮し、</p> <p>a) 4.1 に規定する課題</p> <p>b) 4.2 に規定する要求事項</p> <p>c) 環境マネジメントシステムの適用範囲</p> <p>次の事項のために取り組む必要がある、<u>環境側面 (6.1.2 参照)、順守義務 (6.1.3 参照)、並びに 4.1 及び 4.2 で特定したその他の課題及び要求事項に関連する、リスク及び機会を決定しなければならない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 環境マネジメントシステムが、その意図した成果を達成できるという確信を与える。</li> <li>- <u>外部の環境状態が組織に影響を与える可能性を含め、望ましくない影響を防止又は低減する。</u></li> <li>- 継続的改善を達成する。</li> </ul> <p>組織は、環境マネジメントシステムの適用範囲の中で、<u>環境影響を与える可能性のあるものを含め、潜在的な緊急事態を決定しなければならない。</u></p> <p>組織は、次に関する <u>文書化した情報を維持しなければならない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 取り組む必要があるリスク及び機会</li> </ul> <p>6.1.1～6.1.4 で必要なプロセスが計画どおりに実施されるという確信をもつために必要な程度の、それらのプロセス</p>	全	1	<p>6.1.1 項で規定する事業上のリスク及び機会で、あなたの部署に関連する事項はありますか。</p> <p>例えば、<u>気候変動に関する取組み</u></p>		
<p><b>6.1.2 環境側面</b></p> <p>組織は、環境マネジメントシステムの定められた適用範囲の中で、<u>ライフサイクルの視点を考慮し</u>、組織の活動、製品及びサービスについて、組織が管理できる環境側面及び組織が影響を及ぼすことができる環境側面、<u>並びにそれらに伴う環境影響を決定しなければならない。</u></p> <p>環境側面を決定するとき、組織は、次の事項を考慮に入れなければならない。</p> <p>a) <u>変更</u>。これには、計画した又は新規の開発、並びに新規の又は変更された活動、製品及びサービスを含む。</p>	<p>製造設備</p> <p>営業設備</p> <p>営業設計</p> <p>購買</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>環境に有益な影響を及ぼす管理できる環境側面及びその環境影響は何ですか。</p> <p>社内・社外の後工程及び前工程に影響を及ぼすことができる環境側面及びその環境影響は何ですか。</p> <p>ライフサイクル視点を考慮した製品・サービスの環境側面にはどのような項目がありますか。</p> <p>調達先へ影響を及ぼすことができる環境側面にはどのような項目がありますか。</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p><b>b) 非通常の状況及び合理的に予見できる緊急事態</b></p> <p>組織は、設定した基準を用いて、著しい環境影響を与える又は与える可能性のある側面(すなわち、著しい環境側面)を決定しなければならない。</p> <p>組織は、必要に応じて、<b>組織の種々の階層及び機能において、著しい環境側面を伝達</b>しなければならない。</p> <p>組織は、次に関する<b>文書化した情報を維持</b>しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 環境側面及びそれに伴う環境影響</li> <li>- <b>著しい環境側面を決定するために用いた基準</b></li> <li>- 著しい環境側面</li> </ul> <p><b>注記</b> 著しい環境側面は、有害な環境影響(脅威)又は有益な環境影響(機会)に関連するリスク及び機会をもたらし得る。</p>	設計 設備	5	最近、新規の製品開発や設備導入がありましたか、ある場合はその環境側面を見せてください。		
	設備	6	緊急時、非定常時の著しい環境側面は何ですか。		
	全	7	貴方の部署での著しい環境側面のリストを見せてください。		
<p><b>6.1.3 順守義務</b></p> <p>組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) 組織の<b>環境側面に関する順守義務</b>を決定し、参照する。</p> <p>b) <b>これらの順守義務を組織にどのように適用するか</b>を決定する。</p> <p>c) 環境マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、継続的に改善するときに、これらの順守義務を考慮に入れる。</p> <p>組織は、順守義務に関する文書化した情報を維持しなければならない。</p> <p><b>注記</b> 順守義務は、組織に対するリスク及び機会をもたらし得る。</p>	全	1	貴方の部署に適用される順守義務にはどのような項目がありますか。		
<p><b>6.1.4 取組みの計画策定</b></p> <p>組織は、<b>次の事項を計画</b>しなければならない。</p> <p>a) <b>次の事項への取組み</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) <b>著しい環境側面</b></li> <li>2) <b>順守義務</b></li> <li>3) 6.1.1 で特定した<b>リスク及び機会</b></li> </ol> <p>b) 次の事項を行う方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) その取組みの環境マネジメントシステムプロセス(6.2、<b>箇条 7、箇条 8</b>及び<b>9.1</b>参照)又は他の<b>事業プロセス</b></li> </ol>	全	1	著しい環境側面はどのように取り組んでいますか <b>環境目標又は運用の計画、その両方</b>		
	全	2	(該当する場合)順守義務はどのように取り組んでいますか <b>順守評価又は内部監査</b>		
	全	3	(該当する場合)リスク及び機会はどのように取り組んでいますか。		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p>への統合及び実施</p> <p>2) <b>その取組みの有効性の評価(9.1 参照)</b></p> <p><u>これらの取組みを計画するとき、組織は、技術上の選択肢、並びに財務上、運用上及び事業上の要求事項を考慮しなければならない。</u></p>			<p>CO2 削減計画、緊急事態への準備及び対応など</p>		
<p><b>6.2 環境目標及びそれを達成するための計画策定</b></p> <p><b>6.2.1 環境目標</b></p> <p>組織は、<b>組織の著しい環境側面及び関連する順守義務を考慮に入れ、かつリスク及び機会を考慮し、</b>関連する機能及び階層において、<b>環境目標を確立</b>しなければならない。</p> <p>環境目標は、次の事項を満たさなければならない。</p> <p>a) 環境方針と整合している。</p> <p>b) (実行可能な場合) 測定可能である。</p> <p>c) 監視する。</p> <p>d) <b>伝達する。</b></p> <p>e) 必要に応じて、更新する。</p> <p>組織は、環境目標に関する文書化した情報を維持しなければならない。</p>	全	1	<p>貴方の部署及びプロセスでの環境目標を見せてください</p>		
<p><b>6.2.2 環境目標を達成するための取組みの計画策定</b></p> <p>組織は、環境目標をどのように達成するかについて計画するとき、次の事項を決定しなければならない。</p> <p>a) 実施事項</p> <p>b) <b>必要な資源</b></p> <p>c) 責任者</p> <p>d) 達成期限</p> <p>e) <b>結果の評価方法。これには、測定可能な環境目標の達成に向けた進捗を監視するための指標を含む (9.1.1 参照)。</b></p> <p>組織は、<b>環境目標を達成するための取組みを組織の事業プロセスにどのように統合する</b>かについて、<u>考慮しなければならない。</u></p>	全	2	<p>リスク及び機会の取組み計画とどう関連していますか。</p> <p>・リスク及び機会の取組み</p> <p>    ・・中期的及び年度単位</p> <p>・部署の環境目標</p> <p>    ・・年度単位</p>		
	全	3	<p>目標を設定するに当って、昨年の未達成原因の分析をどのように行いましたか。</p>		
	全	4	<p>その目標には SMART が織り込まれていますか。</p> <p>S: Significance(著しさ、意義)</p> <p>    ・・質問 2、6.2.1a)</p> <p>M: Measurable(測定可能)</p> <p>    ・・6.2.1b)</p> <p>A: Achievable(達成可能)</p> <p>    ・6.2.2a)</p> <p>R: Responsibility (責任)</p> <p>    ・・6.2.2c)</p> <p>T: Time frame (期限)</p> <p>    ・・6.2.2d)</p>		
	全	5	<p>目標を組織全体にどのように伝達されていますか。</p>		
	全	6	<p>必要な資源(人、お金、技術)などは用意されていますか。</p>		
	全	7	<p>期中での目標達成見込みの監視をどのように計画していますか。どのような指標を設定されていますか。</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<b>運用・実施</b>					
<p><b>8 運用</b></p> <p><b>8.1 運用の計画及び管理</b></p> <p>組織は、次に示す事項の実施によって、<b>環境マネジメントシステム要求事項を満たすため、並びに 6.1 及び 6.2 で特定した取組みを実施するために必要なプロセス</b>を確立し、実施し、管理し、かつ、維持しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- プロセスに関する<b>運用基準の設定</b></li> <li>- その運用基準に従った、プロセスの<b>管理の実施</b></li> </ul> <p><b>注記</b> 管理は、工学的な管理及び手順を含み得る。管理は、<u>優先順位（例えば、除去、代替、管理的な対策）</u>に従って実施されることもあり、また、個別に又は組み合わせて用いられることもある。</p> <p>組織は、計画した変更を管理し、意図しない変更によって生じた結果をレビューし、必要に応じて、有害な影響を緩和する処置をとらなければならない。</p>	全	1	<p>リスク及び機会(6.1)、環境目標及びそれを達成するための計画(6.2)で特定した取組みを実施するために必要なプロセスには、どのようなプロセスがありますか、また、その運用基準は何ですか</p> <p><b>例</b></p> <p><b>電気の使用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節電設定(照明・空調・待機電力の削減)</li> <li>・高効率機器の使用</li> <li>・使用時間・稼働率の管理</li> <li>・不要時の電源 OFF ルール</li> </ul> <p><b>産業廃棄物の排出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニフェスト管理</li> <li>・保管場所の区画・ラベル表示</li> <li>・委託業者の適正管理(許可証確認)</li> <li>・飛散・流出防止措置</li> </ul> <p><b>油の漏洩</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オイルパン・吸着材の常備</li> <li>・配管・ホースの定期点検</li> <li>・保管容器の二重化(トレイ・防油堤)</li> <li>・漏洩時の緊急対応手順</li> </ul>		
	全	2	<p>(計画した変更の管理)</p> <p>有害な環境影響を管理するとき、どのような優先順位で対応を行ってきましたか。</p> <p><b>例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除去:例えば、PCBs、PAFS などの使用禁止</li> <li>・代替:例えば、溶剤形塗料から水性塗料への変更</li> <li>・工学的な管理:例えば、排出管理, 軽減技術など</li> <li>・管理的な対策:例えば、手順, 視覚的管理, 作業指示書, MSDS</li> </ul>		
	製造	3	<p>(意図しない変更)</p> <p>プロセスに意図しない変更が生じた場合は、変更によって生じた結果をレビューし緩和処置を実施していますか。事例を見せてください。</p> <p><b>例:</b></p> <p>排水処理装置の不具合で処理能力が低下</p> <p>変更内容:排水処理槽の攪拌が停止し、処理性能が一時低下</p> <p>レビュー:排水基準超過の可能</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p>組織は、外部委託したプロセスが管理されている又は影響を及ぼされていることを確実にしなければならない。これらのプロセスに適用される、管理する又は影響を及ぼす方式及び程度は、環境マネジメントシステムの中で定めなければならない。</p> <p>ライフサイクルの視点に従って、組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) 必要に応じて、ライフサイクルの各段階を考慮して、製品又はサービスの設計及び開発プロセスにおいて、環境上の要求事項が取り込まれていることを確実にするために、管理を確立する。</p> <p>b) 必要に応じて、製品及びサービスの調達に関する環境上の要求事項を決定する。</p>	購買	4	<p>性を確認 緩和処置:排水の一時貯留、外部放流の停止、設備復旧後に段階的に排水</p> <p>外部委託したプロセスにどのように影響を及ぼしていますか。 例 管理の方式 (直接コントロール) ・契約書・仕様書で環境要求事項を明記 ・作業手順書や基準の提供・遵守要求 ・定期的な監査 ・KPI や環境目標の設定・報告義務化 ・是正処置の要求とフォローアップ (間接コントロール) ・グリーン調達 ・環境方針の共有 ・省エネ・リサイクルの推奨 ・長期取引条件として改善を促す ・環境パフォーマンスで格付け程度 (どこまでやるか) リスクや影響度で決める</p>		
	設計	5	<p>ライフサイクル視点に従って、環境配慮設計を行った事例を見せてください。 例 ・省エネ型モーター・インバータの採用 ・廃油・廃液が出にくい構造設計 ・メンテナンス時に部品を分解しやすい設計(リサイクル性向上) ・騒音・振動を低減する設計仕様の設定</p>		
	購買	6	<p>機材・部品・材料を調達するときどのような環境上の要求を求めていますか。 例 ・RoHS・REACH 対応部材の使用 ・省エネ性能の高い部品の優先調達 ・梱包材のリサイクル材使用の要求 ・「化学物質安全データシート(SDS)の提出要求</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p>c) <u>請負者を含む外部提供者に対して、関連する環境上の要求事項を伝達する。</u></p> <p>d) <u>製品及びサービスの輸送又は配送（提供）、使用、使用後の処理及び最終処分に伴う潜在的な著しい環境影響に関する情報を提供する必要性について考慮する。</u></p> <p>組織は、プロセスが計画どおりに実施されたという確信をもつために必要な程度の、<u>文書化した情報を維持</u>しなければならない。</p>	<p>営業 購買</p> <p>設計 営業</p> <p>全</p>	<p>7</p> <p>8</p> <p>9</p>	<p>外注先や請負先に対して環境上の要求事項を伝達した事例を見せてください。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装・溶接作業での VOC・粉塵管理基準の遵守</li> <li>・廃棄物の分別・適正処理の徹底</li> <li>・工場内でのアイドリングストップ・省エネルギーの遵守</li> <li>・環境事故（漏洩・こぼれ）発生時の報告手順の提示</li> </ul> <p>製品の受け取り手に対してどのような環境情報を伝達していますか。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の省エネ運転方法（最適負荷・待機モードの使い方）</li> <li>・消耗品（油・フィルター等）の環境配慮型交換方法</li> <li>・使用後の部品のリサイクル・回収ルートの案内</li> <li>・輸送時の梱包材の再利用・回収方法の提示</li> <li>・化学物質情報の伝達（ケムチェルパ）S</li> </ul> <p>運用プロセス計画どおりに実施されたことを示す文書には、どのような文書がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に影響を及ぼす業務を実行し管理するために定めたプロセス文書（手順書、標識、様式、ビデオ、写真など）</li> </ul>		
<p><b>7.1 資源</b></p> <p>組織は、環境マネジメントシステムの確立、実施、維持及び継続的改善に必要な資源を決定し、提供しなければならない。</p> <p><b>附属書 A.7.1 抜粋</b></p> <p>資源には、人的資源、天然資源、インフラストラクチャ、技術及び資金が含まれ得る。人的資源の例には、専門的な技能及び知識が含まれる。インフラストラクチャの資源の例には、組織の建物、設備、地下タンク及び排水システムが含まれる。</p>	<p>設備</p> <p>設備</p>	<p>1</p> <p>2</p>	<p>EMSに関連するインフラには、どのようなものがありますか。</p> <p>例) 倉庫、除外設備、地下タンク及び排水システム、空調設備、消火設備等</p> <p>それらのインフラの日常点検、定期点検の記録を見せてください。</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p><b>7.2 力量</b></p> <p>組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) 組織の環境パフォーマンスに影響を与える業務、及び順守義務を満たす組織の能力に影響を与える業務を組織の管理下で行う人(又は人々)に必要な力量を決定する。</p> <p>b) 適切な教育、訓練又は経験に基づいて、それらの人々が力量を備えていることを確実にする。</p> <p>c) 組織の環境側面及び環境マネジメントシステムに関する教育訓練のニーズを決定する。</p> <p>d) 該当する場合には、必ず、必要な力量を身に付けるための処置をとり、とった処置の有効性を評価する。</p> <p>注記 適用される処置には、例えば、現在雇用している人々に対する、教育訓練の提供、指導の実施、配置転換の実施などがあり、また、力量を備えた人々の雇用、そうした人々との契約締結などもあり得る。</p> <p>組織は、力量の証拠として、適切な文書化した情報を保持しなければならない。</p>	全	1	<p>貴方の部署で環境パフォーマンスに影響を与える業務、及び順守義務を満たす組織の能力に影響を与える業務を行う人には、どんな人がいますか。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>著しい環境影響の原因となる可能性をもつ業務を行う人</li> <li>環境影響又は順守義務を決定し、評価する人</li> <li>環境目標の達成に寄与する人</li> <li>緊急事態に対応する人</li> <li>順守評価を実施する人</li> </ul>		
	全	2	力量認定のリストを見せてください。		
	全	3	それらの要員(スタッフ員)はどんな技術的知識及び技能を持っていないでしょうか。力量評価基準を見せてください。		
	製造	4	組織の管理下で業務を行う人も入っていますか。		
<p><b>7.3 認識</b></p> <p>組織は、組織の管理下で働く人々が次の事項に関して認識をもつことを確実にしなければならない。</p> <p>a) 環境方針</p> <p>b) 自分の業務に関係する著しい環境側面及びそれに伴う顕在する又は潜在的な環境影響</p> <p>c) 環境パフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、環境マネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献</p> <p>d) 組織の順守義務を満たさないことを含む、環境マネジメントシステム要求事項に適合しないことの意味</p>	全	1	<p>&lt;社員インタビューで確認&gt;</p> <p>a) 環境方針の理解</p> <p>b) 自分の業務に関係する著しい環境側面及びそれに伴う顕在する又は潜在的な環境影響</p> <p>c) 環境パフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、環境マネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献</p> <p>d) 組織の順守義務を満たさないことを含む、環境マネジメントシステム要求事項に適合しないことの意味</p>		
<p><b>7.4.2 内部コミュニケーション</b></p> <p>組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) 必要に応じて、環境マネジメントシステムの変更を含め、環境マネジメントシステムに関連する情報について、組織の種々の階層及び機能間で内部コミュニケーションを行う。</p>	全	1	<p>経営層、ISO事務局、各部門長、社員間でどのようなコミュニケーションを行っていますか。</p> <p>例) 環境側面の伝達、環境パフォーマンス・環境目標及び達成状況、問題解決、活動の調整、行動計画のフォローアップなど</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
b) <u>コミュニケーションプロセスが、組織の管理下で働く人々の継続的改善への寄与を可能にすることを確実にする。</u>	全	2	社員から EMS 及び環境パフォーマンスを改善するための意見又は提案がありますか。		
<b>7.5.2 作成及び更新</b> 文書化した情報を作成及び更新する際、組織は、次の事項を確実にしなければならない。 a) 適切な識別及び記述 (例 タイトル、日付、作成者、参照番号) b) 適切な形式(例えば、言語、ソフトウェアの版、図表)及び媒体(例えば、紙、電子媒体) c) 適切性及び妥当性に関する、適切なレビュー及び承認	全		特に質問しない。 基本的には ISO 事務局の内部監査で確認する。  ただし、監査の途中で提出された文書化した情報については箇条 7.5.2、7.5.3 に適合しているか確認する。		
<b>7.5.3 文書化した情報の管理</b> 環境マネジメントシステム及びこの規格で要求されている文書化した情報は、次の事項を確実にするために、管理しなければならない。 a) 文書化した情報が、必要なときに、必要なところで、入手可能かつ利用に適した状態である。 b) 文書化した情報が十分に保護されている(例えば、機密性の喪失、不適切な使用及び完全性の喪失からの保護)。 文書化した情報の管理に当たって、組織は、該当する場合には、必ず、次の行動に取り組まなければならない。 - 配付、アクセス、検索及び利用 - 読みやすさが保たれることを含む、保管及び保存 - 変更の管理(例えば、版の管理) - 保持及び廃棄 環境マネジメントシステムの計画及び運用のために組織が必要と決定した外部からの文書化した情報は、必要に応じて識別し、管理しなければならない。					

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<b>緊急事態への準備及び対応</b>					
<p><b>8.2 緊急事態への準備及び対応</b></p> <p>組織は、6.1.1 で特定した潜在的な緊急事態への準備及び対応のために<u>必要なプロセスを確立し、実施し、維持しなければならない。</u></p> <p>組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) 緊急事態からの有害な環境影響を防止又は緩和するための処置を計画することによって、対応を準備する。</p> <p>b) 顕在した緊急事態に対応する。</p> <p>c) 緊急事態及びその潜在的な環境影響の大きさに応じて、緊急事態による結果を防止又は緩和するための処置をとる。</p> <p>d) 実行可能な場合には、計画した対応処置を定期的にテストする。</p> <p>e) 定期的に、また特に緊急事態の発生後又はテストの後には、プロセス及び計画した対応処置をレビューし、改訂する。</p> <p>f) <u>必要に応じて、緊急事態への準備及び対応についての関連する情報及び教育訓練を、組織の管理下で働く人々を含む関連する利害関係者に提供する。</u></p> <p>組織は、プロセスが計画どおりに実施されるという確信をもつために必要な程度の、<u>文書化した情報を維持</u>しなければならない。</p>	全	1	潜在的な緊急事態にはどのようなものがありますか。		
	製造設備	2	<以下、ある場合> 潜在的な緊急事態の準備及び対応のプロセスの文書を見せてください。		
	製造設備	3	緊急事態の発生を予防する手順を説明してください。		
	製造設備	4	不幸にも、緊急事態が発生した場合の対応手順を説明してください。		
	製造設備	5	対応手順をどのような頻度でテストしていますか。その記録はありますか。		
	製造設備	6	緊急事態が発生したとき、どんな外部関係者に、どのように伝達しますか。		
	製造設備	7	テストの後、対応処置が適切であったかレビューされていますか。		
	製造設備	8	緊急事態の準備及び対応の手順を組織の管理下で働く人々にも教育していますか。		
<b>パフォーマンス評価</b>					
<p><b>9 パフォーマンス評価</b></p> <p><b>9.1 監視、測定、分析及び評価</b></p> <p><b>9.1.1 一般</b></p> <p>組織は、<u>環境パフォーマンスを監視し、測定し、分析し、評価</u>しなければならない。</p> <p>組織は、次の事項を決定しなければならない。</p> <p>a) <u>監視及び測定が必要な対象</u></p> <p>b) 該当する場合には、必ず、<u>妥当な結果を確実にするための、監視、測定、分析及び評価の方法</u></p> <p>c) <u>組織が環境パフォーマンスを評価するための基準及び適切な指標</u></p> <p>d) 監視及び測定の実施時期</p> <p>e) 監視及び測定の結果の、分析及び評価</p>	全	1	貴方の部署の監視及び測定が必要な対象にはどんなものがありますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境パフォーマンス</li> <li>・環境目標</li> <li>・著しい環境側面</li> <li>・順守義務</li> <li>・運用管理に係る項目</li> </ul>		
	全	2	監視、測定の方法及び実施時期を説明してください。		
	全	3	環境パフォーマンスを評価するための指標をどのように設定されていますか。		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p>の時期</p> <p>組織は、必要に応じて、校正された又は検証された監視機器及び測定機器が使用され、維持されていることを確実にしなければならない。</p> <p>組織は、環境パフォーマンス及び環境マネジメントシステムの有効性を評価しなければならない。</p> <p>組織は、コミュニケーションプロセスで特定したとおりに、かつ、順守義務による要求に従って、関連する環境パフォーマンス情報について、内部と外部の双方のコミュニケーションを行わなければならない。</p> <p>組織は、監視、測定、分析及び評価の結果の証拠として、適切な文書化した情報を保持しなければならない。</p>	全	4	分析及び評価の方法及び実施時期を説明してください。		
	全	5	貴方の部署の環境パフォーマンス及び有効性をどのように評価されましたか。		
	全	6	環境パフォーマンスの監視、測定、分析及び評価の結果に基づき、関連部門とのコミュニケーションをどのように実施されていますか。		
	営業	7	また、外部とのコミュニケーションをどのように実施されていますか。		
	設備	8	届出等の順守義務の要求についての外部コミュニケーションをどのように行っていますか。		
<p><b>9.1.2 順守評価</b></p> <p>組織は、順守義務を満たしていることを評価するために必要なプロセスを確立し、実施し、維持しなければならない。</p> <p>組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) 順守を評価する頻度を決定する。</p> <p>b) 順守を評価し、必要な場合には、処置をとる。</p> <p>c) 順守状況に関する知識及び理解を維持する。</p> <p>組織は、順守評価の結果の証拠として、文書化した情報を保持しなければならない。</p>	設計	1	順守評価をしなければならない項目にはどのような項目がありますか。		
	製造	2	そのリスト及び実施記録を見せてください。		
	設備	3	どのような頻度・方法で確認していますか。		
		4	最近、関連機関（市や消防署など）からの指摘がありましたか。		
		5	誰が順守評価を実施していますか。順守評価を実施する人は法規制ようにして、どのような知識又は教育を受けていますか。		
<b>改 善</b>					
<p><b>10.2 不適合及び是正処置</b></p> <p>不適合が発生した場合、組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) その不適合に対処し、該当する場合には、必ず、次の事項を行う。</p> <p>1) その不適合を管理し、修正するための処置をとる。</p> <p>2) 有害な環境影響の緩和を含め、その不適合によって起こった結果に対処する。</p> <p>b) その不適合が再発又は他のところで発生しないようにするため、次の事項によって、その不適合の原因を除去するための処置をとる必要性を評価する。</p>	全	1	<p>不適合の定義を説明してください。</p> <p>ISO14001:2016 10.2 項</p> <p>そのような状況の例には、次に示すものが含まれる。</p> <p>次に示すような、環境マネジメントシステムパフォーマンスの不適合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の環境側面に対して、著しき評価が行われていない。</li> <li>・緊急事態への準備及び対応に対する責任が割り当てられていない。</li> <li>・順守義務を満たすことの定期的な評価における不備</li> </ul> <p>次に示すような、環境パフォーマンスの不適合</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p>1) その不適合をレビューする。</p> <p>2) その不適合の原因を明確にする。</p> <p>3) 類似の不適合の有無、又はそれが発生する可能性を明確にする。</p> <p>c) 必要な処置を実施する。</p> <p>d) とった是正処置の有効性をレビューする。</p> <p>e) 必要な場合には、環境マネジメントシステムの変更を行う。</p> <p>是正処置は、環境影響も含め、検出された不適合のもつ影響の著しさに応じたものでなければならない。</p> <p>組織は、次に示す事項の証拠として、文書化した情報を保持しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 不適合の性質及びそれに対してとった処置</li> <li>- 是正処置の結果</li> </ul>	<p>全</p> <p>全</p> <p>全</p> <p>全</p>	<p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>・エネルギー低減目標が達成されない。</p> <p>・メンテナンス要求事項が予定どおりに実施されない。</p> <p>・運用基準(例えば、許容限界)を満たしていない</p> <p>不適合の性質(内容)及びそれにとった処置、是正処置の結果の記録を見せてください。</p> <p>類似の不適合の有無、又はそれが発生するか可能性をどのように判断していますか。</p> <p>有効性のレビューは、原因分析のやり方・対策の決定方法・効果確認の全てのステップをレビューしていますか。</p> <p>レビュー結果は、その程度により、リスク及び機会(即ち予防処置)に反映させていますか。</p>		

サイトツアーのチェックリスト例（運用管理の状況の確認）

	項目	評価	コメント
1	敷地境界		
	敷地境界線		
	敷地外 病院・保育園・住宅等あるか		
	境界線における騒音・振動・ 悪臭・光の状態の確認		
	近隣住民への影響緩和		
	外回り・排水経路		
	分離槽の管理		
	吸着マットの設置		
2	敷地内外回り		
	車両・機材の管理		
	洗車		
	灯油等保管の堰の管理		
	原材料		
	産廃置場 分別・表示		
	緑化（敷地：9,000m2、 建築物 3,000m2 以上の場合）		
3	倉庫、工場内		
	5 S		
	危険物・毒物の保管		
	化学物質の保管		
	廃棄物の分別		
	騒音（コンプレッサ、洗車機等）		
	騒音（鍛圧機械等）		
	使用機械の保安全管理		
	ボイラーの排気管理		
	塗装施設の管理		
	水質浄化施設の排水管理		
	消火栓・消火器		
4	事務所・店舗		
	節電（消灯、LED化、デマンド等）		
	紙の使用量管理		
	グリーン購入		
	環境配慮製品の販売		
	パッケージエアコンのフロンの点検		
	エコドライブの管理		